

## 平成27年度 第1回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成27年4月14日（火） 10時30分～11時25分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，佐々木監事，甲斐文化教育学部長，平地経済学部長，藤本医学部長，石橋工学系研究科長，渡邊農学部長，富田附属図書館長，早川総合分析実験センター長，事務局長

欠席者 諸泉全学教育機構副機構長

陪席者 大島学長補佐

- 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。
- 事務局長から，4月1日付で着任した幹部事務職員等の紹介があった。

### 【 報告・連絡事項 】

#### (1) 学内規則等の見直しにおける規則等と業務の整合性の確認等について

総務課長から，本件について，法令改正に伴い行う学内規則等以外についても，実務等との整合性の確認等を行い，必要に応じて見直しを行うこととするため，3月24日付で各部局等において所掌する規則等について確認依頼を行ったものである旨の説明があり，今後のスケジュール等についても説明があった。

学長からも協力依頼があった。

佐々木監事から，規程以外の役員会指針や学長裁定等のルールについても整理依頼があった。

#### (2) 組織再編の進捗状況について

企画評価課長から，新学部等設置にかかる意見伺い関係の審査スケジュール等について説明があった。

次いで，甲斐文化教育学部長から，学力保障をしつつ，学生の特色を見極めアドミッションに沿った学力選抜になっているかが問われていると思うので，適切に対応したい旨の発言があった。

#### (3) 第3期中期目標・中期計画（素案）にかかる文部科学省から策定ポイント及び策定スケジュール（案）について

企画評価課長から、本件について、4月8日に文部科学省に事前相談を行った際の、意見のポイント、今後のスケジュール案等の説明があった。

(4) 認証評価受審に向けた今後のスケジュール（案）について

企画評価課長から、本件について説明があった。また、4月13日の評価機構への事前相談において、根拠資料等については別添のとおり、ではなく、根拠資料を踏まえた分析結果をわかり易く記載するようにとの指導があった旨の報告があった。

(5) 平成26年度第18・19回拡大役員懇談会における議論の概要について

企画評価課長から、3月4日及び3月18日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について、その概要の報告があった。

(6) 経費削減状況の報告について

財務課長から、本件について、平成26年度2月末までの実績額について、平成24年度同月末までと比較した使用量及び料金増減の説明があった。

(7) 平成27年度入学者数について

入試課長から、本件について、資料に基づき説明があった。志願者数については統合後第2位となっており堅調に推移しているが、佐賀県の高校生は全体の25%と過去最低であったこと、懸念事項として辞退率が昨年より3ポイント上がり15%となったこと、また、研究科で充足率に満たない専攻科は秋季入学で増員を目指したい旨、報告があった。

次いで、学長から、志願者のうち、長崎県からが12%、特に佐世保からの志願者が増加しており、新学部の志願者確保のためにも、できるだけ高校訪問等を行うつもりである旨の発言があった。また、今後の志願倍率の推移によっては定員削減を迫られることもあるので、先を見据えて全員で頑張っていきたい旨の発言があった。

(8) 平成26年度就職状況について（4月1日現在）

就職支援課長から、本件について、昨年度同時期での比較説明があり、学部で0.3ポイント減、大学院で増減なし、総計0.3ポイント減であった旨の説明があった。学長から、公務員再受験者が年々増えているが、その後のフォローをお願いしたい旨の発言があった。

(9) 平成27年度科学研究費助成事業の採択状況について

研究協力課副課長から、本件について、昨年と比較して、採択件数で11件減、額で約1千万円の減となっている等、資料に基づき報告があった。

また国立大学Gグループ（25大学）中、佐賀大学は採択件数・採択率及び配分額において全て22～24位と低迷しており、今後、26年度監事監査でも指摘のあった原因分析、数値目標を明確に設定する等の対応策を検討したい旨の報告があった。

- (10) その他  
特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

特になし。

【 その他 】

特になし。

以 上